

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



▲墨の獅子舞



馬橋の獅子舞▶

五穀豊穰を祈って

詳細については12ページ

6月定例会のあらまし

6月定例会は6月12日から10日間の会期で開催されました。
町長より議案9件、議員より発議案2件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり可決されました。
一般質問は10名の議員が、2日間にわたり行いました。
また、臨時会が5月16日、7月23日に招集され、それぞれ提出された議案は原案のとおり承認・可決されました。



5月臨時会
6月定例会
7月臨時会

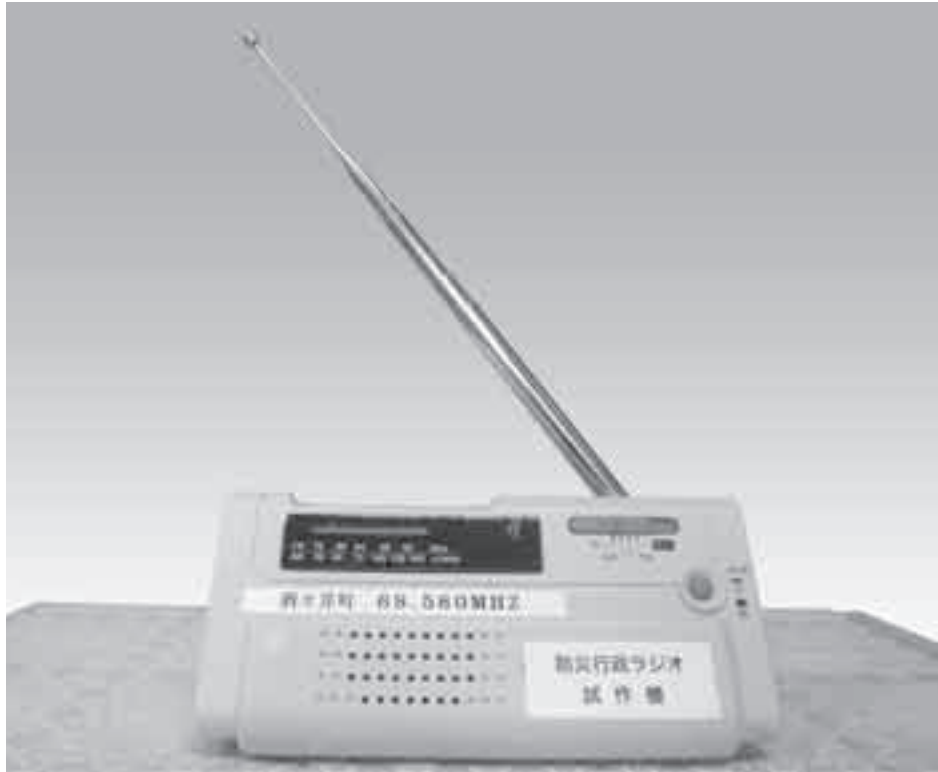
東日本大震災復興基金条例の制定についてなどを可決・・・P2

ファシリティマネジメントの推進についてなど 行政報告・・・P4

町政を問う 議員10名が一般質問・・・P5～P10

東日本大震災復興基金条例を制定

一般会計補正予算など9議案可決



防災ラジオの配布

屋外の防災無線放送が聞きづらい場合など、町の防災無線とラジオ放送が受信できる「防災ラジオ」を有償配布します。

なお、75歳以上のみの世帯で、設置を希望される世帯には、無償貸与を行います。

平成24年6月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町東日本大震災復興基金条例の制定について

平成24年度及び25年度において、千葉県から交付される「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金を原資とした基金を設置し、平成33年度までの間の基金を財源とした事業を実施するために必要な事項を定めるものです。

◇酒々井町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳法の改正により、外国人登録法が廃止されることとなるため、「酒々井町手数料条例」における外国人住民にかかる記載について、一部改正を行うものです。

◇酒々井町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳法の改正により、外国人登録法が廃止されることとなるため、日本人と同様に外国人についても住民基本台帳法の適用対象に加わることから所要の改正を行うものです。

◇工事委託契約の締結について
酒々井南部地区における公共

下水道事業に関する委託につき、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇工事請負契約の締結について

ICアクセス道路整備工事（路体盛土工）その5について、制限付き一般競争入札を実施した結果、東豊土木工業株式会社が落札し、同社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇工事請負契約の締結について

尾上浄水場電気設備更新工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、福井電機株式会社落札し、同社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

一般会計

◇一般会計補正予算（第1号）

補正の主な内容は、給食食材の放射線検査に関するもの、東日本大震災復興基金に関するもの、アウトレット内における酒々井コミュニケーションセンター設置に関するもの、街区公園の遊具等の取替え等に関するもの、防災ラジオ購入費の

増額及び人事異動等に伴う人件費の補正です。

特別会計

◇下水道事業特別会計補正予算（第1号）

ふじき野地区マンホールポンプ2台の交換工事及び人事異動等に伴う人件費の補正です。

水道事業会計補正予算（第1号）

人事異動等に伴う人件費の補正です。

報告

◇一般会計予算継続費繰越計算書について

「地域防災計画修正業務」の、年度内に支出が終わらなかったものについて、翌年度へ通次繰越の処理をしたので報告するものです。

◇一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

「給食食材放射線検査機器整備事業」、「各小中学校エアコン整備事業」、「酒々井ICアクセス道路整備事業」、「防災行政無線移動系整備事業」等の10事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。



◇国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

◇義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について

議員発議によるもの

「酒々井南部土地区画整理事業に係る配水管布設工事(その2)」について、予算繰越しの処理を行ったので報告するものです。

○水道事業会計予算繰越計算書について

「町道02-006号線歩道整備事業」について、年度内完了が困難になり、翌年度への事故繰越しの処理をしたので報告するものです。

○一般会計予算事故繰越し繰越計算書について

議案と議決結果 (町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	酒々井町東日本大震災復興基金条例の制定について	総務	原案可決	◎
2	酒々井町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
3	酒々井町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
4	平成24年度酒々井町一般会計補正予算(第1号)	※	原案可決	◎
5	平成24年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	経済建設	原案可決	◎
6	平成24年度酒々井町水道事業会計補正予算(第1号)	経済建設	原案可決	◎
7	工事委託契約の締結について	経済建設	原案可決	◎
8	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決	◎
9	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。(※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

発議案と議決結果 (議員提出のもの)

番号	件名	提出者名	本会議の議決結果	
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	○
3	国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

平成24年度 補正予算額

(単位:千円)

平成24年度 水道事業会計補正予算額 (単位:千円)

会計名	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	5,749,462	50,812	5,800,274
特別会計 下水道事業	574,045	4,789	578,834

会計名	補正前	6月補正額	補正後
収益的支出	423,163	8,858	432,021
資本的支出	509,463	460	509,923

町長より3件の行政報告がありました。(要旨)

「ファシリテイマネジメント」の推進について

町では、これまでに、経費の節減や経営資源の有効活用に関する取り組みを実施してきたところですが、さらに効果をあげるためには、施設資産の管理や保全等を総合的に実施し、橋梁等を含めた施設の長寿命化を図ることができると体制を構築し、全庁的に推進するため、副町長を委員長とする「酒々井町ファシリテイマネジメント戦略会議」と経営企画課長を委員長とする「酒々井町ファシリテイマネジメント推進委員会」を設置し、体制の整備を図ったところである。

これにより、ファシリテイマネジメントを強力に推進していきます。

酒々井南部地区新産業団地及び(仮称)酒々井町総合交通政策会議について

酒々井町南部地区新産業団地内に、チエルシージャパン株式会社「酒々井プレミアムアウトレット」の開業を目指し準備が進められています。

「酒々井プレミアムアウトレット」は、敷地面積約19・7ヘクタール、店舗数約110店舗、駐車場数約3千500台、年間350万人の来客者を見込んでいます。町としても、アウトレットの集客効果を活かすため、町の観光物産等を広く展示紹介する情報発信コーナーを設け、町のイメージアップと中心市街地への誘客を図ることが重要と考えます。

地区内の一般地権者の土地利用支援策として、「酒々井南部地区新産業団地用地登録制度要綱」を制定し、早期の土地利用の実現に向けホームページなどで情報提供し、企業進出の推進を図っているところです。

また、酒々井インターチェンジの開通及びアウトレットのオープンに伴う周辺の交通影響対策や、町道で課題となっている箇所・区間の対策について、地元関係者及び関係機関の意見を聴き計画策定することを目的とした「(仮称)酒々井町総合交通政策会議」の設置を進めているところです。

町内の放射線量状況及び放射性物質状況並びに対応等について

当町の放射線量については、基準値である0・23マイクロシーベルトを上回る測定地点はなく、測定結果については、町ホームページにおいて公表しています。

また、これまで千葉県より借用し測定しているものと同機種測定器を配備し、6月からの定点測定に使用しています。

放射線量測定器の貸し出し状況は3月が11件、4月が15件、5月が7件の計33件であり、12月からの累計数は90件となっています。

当町の農林産物については、千葉県によるモニタリング検査により、3月から5月末までにニンジン、タケノコ、ウメの検査を実施したところ、放射性セシウムは基準値より下回っていました。今後、カブ、クリ、カキ、キウイフルーツ、ジャガイモ、タマネギ、キュウリ、サツマイモ、サトイモ、チンゲンサイ、ニンジン、ホウレンソウ、ユズ、夏ミカン・甘夏についてモニタリング検査を実施する予定です。

食品放射能測定装置を町学校給食センターに配備し、学校や

保育園の給食の食材の安全確保及び酒々井産農産物の安全確認のため、食品放射能測定検査を実施し、町ホームページにおいて公表しています。



食品放射能測定検査

平成24年5月21日に東京電力成田支社において、印旛郡市7市2町合同で、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の測定等に係り、平成24年3月31日までに要した経費のうち、特別交付税措置をされたものを除いた費用を請求したところ、6月7日付けで東京電力株式会社から、原子力損害賠償紛争審査会の間指針などを踏まえ、現在損害賠償範囲や手続きなどの検討を進めている段階であるため、機会を改めて説明を行いたい旨の回答がありました。なお、平成24年4月1日以降に生じる経費については、改めて請求していく予定です。

請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果	
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡協会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎
請願第3号	「国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡協会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、20日と21日の2日間に10名の議員が南部開発関連や通学路の安全対策など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。

問

小中学校に早期のエアコン設置を

答

学校活動に支障がないように適正な工期（12/20）を設定した

御園生 浩士 議員

問 小・中学校のエアコン設置工事について、業者選定がなされ工期が平成24年12月20日までとなっているが、夏の暑い時期に使用できるような設置工事の完成を早く出来ないのか。また、大幅な落札差が生じたが、この差額を行政のBCP（災害時に行政機能を維持するための事業継続計画）を図っているのか。例えばエコスタールの実現に向けて災害時の避難場所でもある学校での電源確保、蓄電池付き太陽光発電設備、持ち運びできる蓄電池などを備えては如何か。

町長 太陽光発電設備等については、提案ということで検討させていただく。

こども課長 工期については、他市町村での過去の実績を参考に、学校の教育活動に支障がないように適正な工期を設定した。

第5次酒々井町総合計画について

問 ① 町においてはインターチェンジの開通やアウトレットモールの開業に伴い、交通網についてどの様に整備していくのか伺う。

② 岩橋保育園前の道路をJ.Rの線路まで延伸し、立体交差の整備を考える必要があると思うが如何か。

③ J.R酒々井駅周辺の駐輪場の整備を進める必要があると思うが伺う。

町長 ① 来年度、アウトレットモールの開業等を控えており、新たな交通流入を踏まえれば、町内の道路網等交通体系に影響があるものと考えている。そこで、南部地区新産業団地周辺の道路はもとより、安全かつ防災的な見地も踏まえ、町全体の総合的な交通体系について、総合交通政策会議で検討していく。

まちづくり課長 ②③ 整備の必要性など今後の状況を見ながら検討していく。



J.R酒々井駅の駐輪場

問 学校や保育園に太陽光発電設備の設置を求める

答 利点はあるが、財源の問題等があるので、状況を見極めながら検討していく

那須 光男 議員

問 ① 全原発が停止し、電力が逼迫する中、夏本番を迎えた。各地の自治体では積極的に太陽光をはじめとする自然再生エネルギー導入に取り組んでいると報道されている。3月議会でも質問したが、酒々井町も学校・保育園に太陽光発電設備を設置するよう重ねて求めるが、町長の考えを伺う。

② 連日テレビ等で各自治体が自然再生エネルギーに取り組んでいると報じられている。東京都は太陽光パネルを設置するために、学校など都の公共施設の屋上を民間に貸し出しを決めた。群馬県太田市は遊休地に市が自らソーラーを設置した。建設費は後払いという契約で初期投資金はゼロだという。売電収入として年間6,700万円を得て、建設資金の支払いに、残りは市民が太陽光発電を設置する際の補助金や市が太陽光発電設備を更に増設する際の資金として使用する計画である。「脱原発をめざす首長会議」のメンバーになられた町長に、来年と言わずに早速に設置するよう求めるが、町長の見解を伺う。



町長 ① 蓄電池を組み込んだ太陽光パネルを小中学校や保育園に整備することにより、消費電力の削減、余剰電力の買取り、更に、災害時の非常用電源としての活用などの利点があるので、財源の問題はあるが、技術開発による設備の寿命や維持管理費等も安価になることが期待されるので、状況を見極めながら検討していきたい。

② 提案として受け止める。太田市は交付税が不交付団体であり、市で自由に予算をつけて物事を進められる所であるが、酒々井町は交付団体であり、予算の使い道は国にチェックされているので、大変なところがある。また、酒々井町では太陽光発電設備を設置できるだけの土地を持っていない。

問 通学路の安全対策は

答 通学路の見直しや危険箇所マップを作成した

金塚 学 議員

問 4月に京都、千葉、愛知において登校中の児童の列に車が突っ込む痛ましい事故が発生しているが当町の通学路の安全対策を伺う。

教育長 通学路の見直しや危険箇所マップを作成し、児童・生徒に理解させるとともに、改善可能なものから早急に対応し、通学路の安全に向けて関係機関と一層の連携を図っていく。

学習関連施設の充実について

問 プリミエール酒々井の図書館入口に遮音用の扉が必要と思うが如何か。

教育長 利用者から騒音の苦情があるため、エントランスホールにお静かに願いたい旨の張り紙をして、協力をお願いしているが、遮音性のある扉の設置については、検討していきたい。

安全・安心に暮らすための対策について

問 酒々井インター並びにアウトレットモール開業に伴う町内の交通渋滞が予想されるが対策について伺う。

町長 アウトレットモールに來場する交通量は円滑に捌けるものと計画しているが、予測が難しい面もあるので、

交通体系について検討委員会を立ち上げるなど、対策を講じていきたい。

住みよい環境対策について

問 東酒々井の住宅地でコウモリ等の鳥獣被害が出ているが対策は講じているのか伺う。

担当参事 千葉県害虫防除協同組合を紹介するなど、自己対応していただくようお願いしている。

清掃組合について

問 四街道市の清掃組合加入問題について清掃工場のある自治体として地元対策を伺う。

町長 四街道市が加入するには、まず、地元地区の了解が大前提であることから、地元協議会と清掃組合による十分な協議が行われるよう協力していく。

町の活性化推進について

問 国道296号線尾上地先からの眺望はすばらしいが、町の都市計画マスタープランにある見晴らし台の計画について伺う。

町長 町内には築山をはじめ眺望点数が数か所あり、具体的な場所についてはこれから検討していく。

問 介護支援ボランティア制度が必要

答 平成25年度から実施したい

齊藤 博議員

問 私は、平成19年6月議会で「介護互助会制度」を提案し、その後も提案し続けてきたが、今回、町は「介護支援ボランティア制度」の導入を決めた。私は、高齢化社会を控え「健康な時にボランティアが必要としている方々に介護サービスを提供し、万が一自分が介護サービスを受けることとなった場合は提供してきたサービス量に応じて無料または低額で利用できる制度」を提案してきた。印西市では「提供した介護サービスを年間5千円を限度に換金できる」ことになっているが、1年度ずつだけでなく、将来的にも介護サービスを受けられる仕組みを加えるべきだと考えるが、町の考えを伺う。また、町には介護入所施設が多くな、在宅介護でその不足を補っている。在宅介護の困難さを軽減するためにも介護ボランティアの方が提供できるサービスについては介護施設に対するものだけでなく、在宅介護の場合もポイント化できるように制度化すべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長 高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて、社会参加や地域貢献することを奨励及び支援するとともに、高齢者自身の健康保持・増進を図っていくことを支援する施策が求められていることから、町としても今年度からスタートした第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において位置づけ、取り組むこととしている。

担当参事 介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者に対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与し、貯めたポイントで自らの介護保険料に充てたりすることで、結果的に介護保険料の負担が軽減されるといったような制度を描いており、今後設置する「介護支援ボランティア制度検討委員会」での検討、協議が整えば平成25年度からスタートさせたいと考えている。また、「サービスの在宅介護への拡大」や「ポイントの換金以外の活用方法」については、「介護支援ボランティア制度検討委員会」において、実施の可能性も含め協議していきたい。

問 町内道路安全整備の推進を

答 交通安全対策等に努めている

原 義明議員

問 平成24年度まちづくり目標におき、生活機能の整った歩いて暮らせる「コンパクトシティ酒々井」を目指し、また来春酒々井ICと酒々井プレミアムアウトレット供用開始される由で住民の利便性、安全性のため、早急に整備必要である次の点について見解を伺う。

- ① 国道296号東酒々井入口交差点右折レーン設置は県が今年度用地買収を行う計画につき、その結果と今後まだ時間を要するならば、緩和策とみなし車線設置についても伺う。
- ② 県道宗吾酒々井線八坂神社地先にある信号機無き横断歩道の為、通学路を子供達が遠回り登校せざる状況、子供達や周辺住民の安全性、利便性確保の為、早急な信号機設置について伺う。

町長 ① 来春までに右折レーンを設置し、供用開始するため、鋭意努力していると県から聞いています。

② この横断歩道に歩行者用押しボタン式信号機が設置されれば、ここを通学路として裏道を通り、今よりも安全に通学できることとなるので、佐倉警察署に押しボタン式信号機の設置の要

請を行ったところである。

酒々井ブランド創出事業について

問 推奨品として20品目が商工会ガイドマップに掲載されパンフレットも出来、ブランド事業が推進されているので、次の3点について伺う。

- ① 現在までの活動状況と今後の目標について伺う。
- ② 販路とPR活動の具体的方向性について伺う。
- ③ 予算計上の594万円の今後の使途策を伺う。

副町長 ① ブランド創出会議等により、5点の商品を「酒々井ブランド品」とした。今後具体的な販売に向けて整備をしていく。また、酒々井町推奨品認定制度を発足し、20品目を認定した。

住民協働課長 ②③ 販路等については、アウトレットモール開業など、県内外から多くの方が訪れることを視野に入れ、今年度のブランド創出事業の中で研究していく。また、予算の使途については、町商工会を事業委託先とし、ブランド創出商品の具体的な販売に向けた整備等を行うものである。

問 保育園の完全給食で食の安心と充実を

答 国の動向等を見極めながら検討していく

川島 邦彦 議員

保育園の給食体制

問 ① 保育園は完全給食でなくご飯のみ持参としている理由を伺う。

② 食事時の保温あるいは食中毒対策等の有無を伺う。

③ ご飯を給食に含めた場合の経費と、併せて、保育料への影響を伺う。

④ 完全給食へ移行の考えはあるか、あるいは移行できない課題を伺う。

ことも課長

① 3歳以降の園児のご飯は、国庫負担基準の対象になっていないことなどが理由である。

② 保健所の指導に基づいて園児が持参したご飯を保管している。

③ 1食50円程度の増額が見込まれ、保育料に加算されることになる。

④ 国が進めている幼保一本化への対応など、今後の検討課題と考えている。

町の観光及び特産品等のPR

問 来町者増加を意識しアウトレット内（仮称）コミュニケーションセンターの運営方法を伺う。

① 観光案内等の具体的対応を伺う。

② 物産展示の選定にあたり、不公平感を払拭するしくみが必要である。

③ 「物販は不可」とのことだが、不可を補う販売促進の考えを伺う。

町長 ① 町の物産品等の展示や説明員によるPR活動等を予定している。

② 商工会等と協議しながら展示品の選定をしていく。

担当参事 ③ 町の物産品等のPRを積極的に行っていくことを考えている。

問 町内を回遊する付加価値のある施策や環境が必要ではないか。また観光業者等との連携による誘客の是非を伺う。

担当参事 誘客の施策として、地域資源の掘り起こし等について検討していく。観光業者等の連携については、今後、

チエルシージャパン（株）と十分協議を行うっていく。

問 駅前交流センターに観光案内等の機能を追加できないか。あるいは社会福祉協議会入居ビルのあり方等を含めて総合的に検討する考えはあるか伺う。

町長 駅前交流センターに臨時職員を配置し、観光マップの配布等を行っているが更に工夫していく。また、総合案内所のようなものは、オープン後の

状況を見ながら検討していく。

問 東酒々井入口交差点の早期改良を

答 県より右折レーン設置に向けて今年度事業化すると聞いている

佐藤 修一 議員

問 国道296号東酒々井入口交差点

については、東酒々井、ふじき野地区の方々より安心して右折出来るようにしてほしいとの要望が多い。現場を検証すると車の通行量も多く、道路幅も狭いため、右折するには危険が伴い、後続車の渋滞が常に発生する交差点になっている。来年にはアウトレットの開業が予定されていることから早急な対応が望まれる。この交差点の改良については以前から質問がなされ「県では右折レーンの設置を考えている」との答弁であったが、現況と今後の見通しについて伺う。

町長 右折レーンの設置については、今年度用地買収を実施し、工事着工する予定であると県から聞いている。

南部開発関連について

問 酒々井プレミアム・アウトレットの開業計画は、テレビ等で大きく取り上げられ、町民も期待を込めて見守っているが、地元対策として、高齢者や子供たちが気軽にショッピングできるよう、アウトレットと中心市街地を循環するマイクロバス等の運行を事業者に要望すべきと思うが町の考えを伺う。

町長 循環バスなどの運行により、高齢者や子供たちが気軽にショッピングを楽しめるとともに、渋滞の緩和策として駅利用者による集客にも結び付くことからチエルシージャパン（株）に対し、協議を行うっていく。



早期改良が望まれる国道296号
東酒々井入口交差点



問 消防団OBなどによる消防組織の設置を

答 各地域で組織を設置していただき、その中で活動してほしい

江澤 眞一 議員

問 酒々井町地域防災計画について次の点を伺う。

- ① 計画の策定状況について伺う。
- ② 防災会議を開催すると3月議会で答弁されたが、会議の目的及び時期について伺う。

町長 ① 平成23年度及び平成24年度の継続事業で実施しており、現在、防災体制の見直しを行っており、今後、地域防災計画素案の作成や防災会議の開催等を行っていく。なお、防災会議は地域防災計画の作成や、その実施の推進のため設置されており、計画の素案策定の段階と計画策定最終手続きの2回ほど開催する予定である。

問 酒々井町耐震改修促進計画について次の点を伺う。

- ① 一般木造住宅を対象となる昭和56年5月31日以前に建てられた住宅が何戸あるのか伺う。
- ② 平成27年度までの5年間で実施するとあるが、今年度の予定について伺う。

まちづくり課長 ① 平成22年度に策定した酒々井町耐震改修促進計画の調

査で2,676棟あった。

- ② 今年度は、耐震診断及び耐震改修工事費補助事業を実施しており、耐震診断50件、耐震改修30件の予算を計上している。

問 消防団OB及び消防署OBの活用による消防組織について、町の考えを伺う。

町長 町としては、各地域の「共助」の精神の下、自主防災組織を各地域に設置していただき、その自主防災組織の中で消防団OBの方々には活動していただければと考えている。

酒々井小学校のプールについて

問 第5次酒々井町総合計画において、プールの老朽化が課題であると考えられているが、今後の予定について伺う。

こども課長 第5次総合計画前期基本計画の中で「建設場所を含めた建て替えを検討します」と明記している。今後は、改修や建て替えの費用、建て替えの場合の建設場所の選定、学校の意向、財源の問題などについて、調査、検討する予定となっている。

問 「中川の浚渫に関する請願」が採択されているが

答 土砂等の撤去を検討したい

地福美枝子 議員

問 ① 町内の道路、公園の清掃、除草等の委託料や委託内容について伺う。

- ② 「中川の浚渫に関する請願」が12月に採択されたが、今後の予定を伺う。

まちづくり課長 ① 道路の点検は月2回行い、公園は専門業者が年1回点検をする。除草等は専門業者への委託とボランティア団体の協力を頂いている。委託料については計画ベースで、道路と公園各1,100万円である。

上下水道課長 ② 浚渫ではなく、土砂等の撤去を検討していきたい。

問 ① 「公園等愛護活動推進事業」の認定団体数及び公園数を伺う。

- ② 認定団体は低木の伐採も行うが、そのための技術的な指導や使用する道具の貸し出しは行っているのか伺う。
- ③ 認定団体が受け取る報奨金の使い方に対して言及しているのはなぜか。

住民協働課長 ① 9団体で10箇所公園等で環境美化が図られている。

② 技術的なことについては、認定団体と相談しながら考えていきたい。道具は報奨金の中で購入してほしいが、刈払機については、今年度から貸出し

できるよう準備をしている。

- ③ 報奨金の使途として茶代等に使うのは問題ないが、活動と全然関係ないものには使えないこととなっている。

町の放射能測定と除染について

問 ① 空間放射線の測定をして1年経ち、食品の検査も5月から始めたが、今後の予定や計画について伺う。

- ② 部分的に高いところの除染は行う考えがないのか伺う。

町長 ① 引き続き、定期測定を実施し、結果を公表していく。

② 町は面的除染を必要としない地域となっているが、引き続き測定を行い、結果を注意していく。

原発ゼロの実現について

問 原発ゼロの実現を目指して全国首長会議が4月に発足した。全国約70人の首長が加入し、千葉県では小坂町長を含め5名の首長が加入したが、町長が加入した経緯と意思を伺う。

町長 趣旨に賛同し、参加を表明した。各自治体は、原子力発電に依存しない社会を目指し、再生可能エネルギー政策等に取り組んでいく必要がある。

問

自治会単位での防災体制づくりを

答

育成・支援に努めていきたい

竹尾 忠雄 議員

問 全国で児童・生徒が巻き込まれる交通事故が多発している。これらは、「以前から危険な場所」とされていた場所です。酒々井町においても安全対策が必要である。平成22年度の中学生模擬議会では、上郷地区にある福美造園の下の水田の間の道を通学している生徒から「田んぼの間を通る道は、歩道やガードレールがなく、車が通るたびに怖い思いをしている。人や自転車が安心して通ることが出来るよう改善をお願いします」との質問があり、町長は「通学路として安全を確保しなければならぬ道路であることは十分認識している」と答弁されたが、既に2年が経過している。来年オープンするアウトレットの来客者によって、これまで以上の交通量も予想されることから、一日も早い安全対策が必要と考えるが町の考えを伺う。また、下台地区のU字溝工事も早急に完了させるべきであり、県道宗吾酒々井線は、県管理であるが、交通量も多いことから、歩道の設置が必要と考えるが、町の考えを伺う。

町長 上郷地先の道路については、道路よりも低い所に水田が有るため、道路を改良すると耕作者が水田に入れなくなってしまう。改良するには、地権者のご理解を頂いた中で、安全対策を最優先に取り組んでいきたい。



上郷地先の道路

副町長 下台地区のU字溝の段差改良工事については、残りの片側は、近々工事を発注すべく準備を進めている。また、県道宗吾酒々井線の歩道未整備箇所については、住家が連たんしている箇所であり、用地買収や建物移転に時間と費用を要するため、概ね用地確保が可能な状況にある危険箇所を優先的に整備する方針であると県から聞いている。

その他の質問

那須 光男 議員

- ・防災ラジオについて
- ・国道296号東酒々井交差点について
- ・放射線について

齊藤 博 議員

- ・都市再生整備計画について
- ・町道の整備について

竹尾 忠雄 議員

- ・南部地区新産業団地について
- ・町道の管理について
- ・岩橋保育園の運動場新設について



平成24年5月臨時議会で承認・可決された議案は次のとおりです。

◇専決処分の承認を求めることについて
 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、納税者に実害が及ばないようにするため、町税賦課徴収条例の一部を改正する条例、町都市計画税条例の一部を改正する条例及び町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、議会の承認を求めるものです。

◇工事請負契約の締結について
 国の学校施設環境改善交付金事業を活用した小中学校エアコン設置工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、千葉市のフィデス株式会社が落札し、同社と仮契約を締結したもので、議会の議決を求めるものです。

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認	○
2	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認	○
3	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認	◎
4	工事請負契約の締結について	なし	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

平成24年7月臨時議会で可決された議案は次のとおりです。

◇工事請負契約の締結について
 酒々井南部土地区画整理事業に係る配水管布設工事(その3)について、制限付き一般競争入札を実施した結果、古谷建設株式会社花落札し、同社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇財産の取得について
 防災ラジオ1,800台及び外付けアンテナ100本を購入し、住民に配布するもので、リズム時計工業株式会社と随意契約したく、議会の議決を求めるものです。

◇一般会計補正予算(第2号)
 補正の主な内容は、既存の地形図について、デジタル化を行うための都市計画基本図数値化業務委託及び道路維持環境を強化するための道路修繕等業務委託の経費を増額するものです。なお、都市計画基本図数値化業務委託の財源は、全て千葉県緊急雇用創出事業補助金で手当てされるものです。

平成24年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	7月補正額	補正後
一般会計	5,800,274	23,027	5,823,301

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	平成24年度酒々井町一般会計補正予算(第2号)	なし	原案可決	◎
2	工事請負契約の締結について	なし	原案可決	◎
3	財産の取得について	なし	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。



酒々井ライオンズクラブが
 勝つタネ!くんの
 着ぐるみを町に寄贈

6月21日(木)、プリミエール酒々井で、酒々井ライオンズクラブ25周年記念として作成された「勝つタネ!くん」の着ぐるみが町に寄贈されました。町教育委員会のマスコットキャラクターの「勝つタネ!くん」は、文武両道の武将、千葉勝胤をモデルとしています。今後は、本佐倉城跡のPRや行事等で有効に活用していきます。



青島 広志 さん

人権教育セミナー・学校
人権研修会・図書館講演
会・しすいタウンカレッ
ジ公開講座合同講演会

7月27日(金)に、プリミエール
酒々井で、「題名のない音楽会」「世
界一受けたい授業」などの人気テレ
ビ番組でおなじみの青島広志さんを
講師に迎え、「音楽は人間をどう表
現するか?」音楽と人権を考える
と題して、青島さんの伴奏と、テ
ノール歌手の小野勉さんの歌を織り
交ぜながら、音楽と人権をテーマに
講演会が開催されました。



酒々井インターチェンジ設置促進期成同盟総会

酒々井 インターチェンジ 設置促進期成同盟総会

7月10日(火)、中央公民館講堂にお
いて、酒々井インターチェンジ設置
促進期成同盟総会が開催され、越川
議長が出席しました。総会終了後に
現地を視察し、ネクスコ東日本の職
員から進捗状況等、詳細な説明があ
りました。



酒々井インターチェンジ事業地を視察

「表紙の紹介」

五穀豊穰、家内安全などを祈願して舞が奉納さ
れる墨の獅子舞(県無形民俗文化財)が7月15日
に墨の六所神社で、馬橋の獅子舞(町無形民俗文
化財)が21日に馬橋の香取神社で、それぞれ披露
されました。

地元保存会の皆さんは、この日のために練習を
重ね、江戸時代から引き継がれている伝統の舞を
演舞され、境内に訪れた方々は、幻想的な舞をカ
メラに収めようと熱心にシャッターを押していま
した。

決算に関する 議案について

決算に関する議案につ
いては、昨年度までは9
月定例会に上程され、決
算審査特別委員会を設置
し、これに付託の上、閉
会中の継続審査としてい
ましたが、今年度から会
期中に決算の認定を行う
こととなりました。

審査状況については、
次号でお知らせします。

9月定例会の お知らせ

次の定例会は9月上旬に開
会する予定となっております。
会期の概要は、8月28日の
議会運営委員会が決まりま
す。会期などについては、議
会運営委員会の開催日以降、
議会事務局までお問い合わせ
ください。

なお、会期の概要が決定し
たら、町議会のホームページ
やポスターでもお知らせして
いますのでご覧ください。
皆様の傍聴をお待ちしてい
ます。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)